

※募集に関する情報・応募書類等は変更の可能性があります、また有益な情報・よくある質問等を後日追加して掲載する場合がありますため、最新情報を必ずウェブサイトを確認すること。

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/yale-summer.html>

1. 概要

米国のトップ大学であり、東京大学とも関係が深いイェール大学の夏季集中講義（Yale Summer Session）または英語研修（English Language Institute）に参加するプログラムです。Yale Summer Session では、集中講義をイェール大学の学生とともに受講します。English Language Institute では、イェール大学で英語力を高めたいという意欲を持つ非英語圏の学生とともに英語を学習することができます。

個人での応募も可能ですが、東京大学を通じて申し込むと、授業料が10%割引となり、また東京大学から情報提供や手続きのサポートを受けることができます。

2. 開催地

イェール大学（米国コネチカット州・ニューヘイブン市）

3. 開講期間・開講コース

(1) Yale Summer Session (YSS) <http://www.yale.edu/summer/>

開講期間：2013年7月8日－8月9日（5週間・Session B）※入寮日：7月7日

内容：通常の1学期間（4カ月）に相当する授業を5週間で行う集中講義。授業内容は人文・社会科学から自然科学まで多岐にわたる。Session B（Session Aは対象外）で開講されているコースから、2単位分（通常 one-credit course を2コース）を受講する。（米国入国の際のF-1ビザの条件である full-time study を満たすため。）

参照：<http://summer.yale.edu/find-your-program>

<http://summer.yale.edu/application/important-information>

参加対象者：学部学生（大学院学生は不可）

語学レベル（必須）：TOEFL PBT 600/ iBT 100/CBT250 あるいは IELTS 7 以上

※英語のレベルアップのみを目的とする語学研修ではなく、コース内容の分野についての理解を深める集中講義であるため、上記スコアが必須である。

(2) English Language Institute Program (ELI) <http://www.yale.edu/eli/>

開講期間：2013年7月1日－8月9日（6週間）※入寮日：6月29日

内容：目的別に以下のコースがある。

- Intensive English for College Students
- English for Postgraduate Students
- English for Business
- English for Law

参照：<http://summer-eli.yale.edu/choose-your-program>

4. 派遣学生数

YSS、ELI 合わせて 15 名までが授業料割引の対象となる。

5. 参加資格

以下の要件をすべて満たすこと。

- (1) 参加コースに必要な英語能力を有すること。
- (2) 申請時に本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在籍しており、かつ派遣期間に本学学部又は大学院研究科・教育部の正規課程に在学する者。派遣期間中に休学している者は参加できない。また、Yale Summer Session は大学院学生は参加不可。
- (3) 参加コースが求める条件を満たすこと。コースによっては開講テーマ分野の知識を求める場合がある。
- (4) Yale Summer Session を希望する者は、YSS ウェブサイト Application Information のページの International Students の欄に記載の事項を確認し、条件を満たしていること。
<http://summer.yale.edu/application/important-information>
- (5) 履修において不利益とならないよう、平成 25 年度夏学期の授業・試験日程、その他各自の予定等を申請前に十分確認し、参加が可能な場合のみ応募すること。（東京大学として推薦できる人数に上限があり、学内選考後に辞退すると他の学生の留学の機会を失することにつながるため、原則として申請後に辞退することのないよう注意すること。）
- (6) 本学の授業に一定期間出席できない場合等の取扱いについては、派遣時の所属部局の判断による。本プログラムへの参加に際し必ずしも配慮が行われるとは限らないため、十分確認・納得した上で申請すること。
- (7) 派遣時における本学の指導教員等が既に分かっている場合は、本プログラムに申請することを事前に報告し、了承を得た上で申請書の所定の欄に署名を受けること。上記に該当する教員等がない学生は、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にその旨報告・相談すること。
- (8) 派遣時に所属する予定の部局の担当部署に相談し、申請前に派遣に関する学務上の留意点の説明を充分受け、申請書の所定の欄に署名を受け、納得した上で申請すること。
- (9) Yale Summer Session に参加し所定の要件を満たした場合には、イエール大学から単位が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは留学時の所属部局の判断による。本プログラムで修得した単位が必ずしも本学の単位となるとは限らないため、納得した上で申請すること。単位認定の手続き等については、派遣時に所属する予定の部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。

6. 費用

(1) コースにより異なるため、ウェブサイトで確認すること。原則として、授業料・宿泊料・航空賃・教材費・ビザ取得費用等、参加に要する経費は自己負担となる。なお、本募集により参加が決定した学生は、授業料が 10%割引となる。

YSS : <http://summer.yale.edu/application/tuition-fees>

ELI : <http://summer-eli.yale.edu/calculate-your-costs>

[(参考) 主な参加費用の概算] 単位 : US ドル

	Course	授業料	授業料 (割引後)	宿舍費
YSS	1-credit course × 2 コース	\$6,600	\$5,940	\$2,604
ELI	Intensive English for College Students	\$4,650	\$4,185	\$3,330
	English for Postgraduate Students	\$4,730	\$4,257	
	Business Seminar for International Students	\$5,480	\$4,932	
	Law Seminar for International Students	\$5,480	\$4,932	

※その他、渡航費、ビザ申請費用、医療保険料、教材費等も自己負担となる。

(2) 東京大学・派遣先大学・その他支援団体等から奨学金が支給される場合がある。奨学金を希望する学生は、申請書の所定欄に必要事項を記入すること。支給可能な場合、16万円前後の支給を予定しているが、奨学金支給の有無や金額は財源等を勘案の上、決定する。

(3) Friends of Todai, Inc. (FOTI) による奨学金にも応募可能である。応募を希望する者は、FOTI のウェブサイト (<http://jp.friendsoftodai.org/>) を確認の上、FOTI へ直接応募すること。

7. 応募締切

所属部局により異なるので、各自現在所属する部局の担当部署に確認すること。

各部局担当部署一覧：<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>

※本募集による参加を希望する場合、ELI や YSS のウェブサイト等に記載されている締切日とは異なるので注意すること。

8. 応募方法

「応募書類」欄に記載の応募書類一式（電子ファイル及び紙媒体）を現在所属する部局の応募締切日までに、現在所属する部局の担当部署へ提出すること。

【様式電子ファイル ダウンロード先】

「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイト内のイェール大学サマープログラムのページ

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/yale-summer.html>

【電子ファイル送付方法】

送付先：現在所属する部局の担当部署

メールタイトル：2013 イェール大学サマープログラム派遣申請（所属・氏名）

ファイル名：①（所属・氏名）2013 夏季短期留学申請書

②（所属・氏名）2013 夏季短期留学成績評価係数計算表

③（所属・氏名）2013 申請者情報シート

9. 応募書類

（※IARU Global Summer Program (IARU GSP) と併願する場合は、⑥⑦をIARU GSPの応募書類と併せて提出すること。）

<電子ファイルで提出するもの>

①2013 夏季短期留学プログラム派遣申請書の Word ファイル（所定様式・署名前のもの）

②成績評価係数計算表の Excel ファイル

③ (所属・氏名) 2013 申請者情報エクセルシート

＜紙媒体で提出するもの＞ ※全てA4判で提出すること。

①2013夏季短期留学プログラム派遣申請書 (所定様式・和文)

※署名が必要な欄には必ず署名を入手すること。

※希望コースは、以下から1つ選択すること。

- ・ Yale Summer Session
- ・ Intensive English for College Students(ELI)
- ・ English for Postgraduate Students(ELI)
- ・ Business Seminar for International Students(ELI)
- ・ Law Seminar for International Students(ELI)

②成績評価係数計算表

④大学入学後全学期の成績証明書 (英文) の写し

※成績評価の基準の説明部分 (何段階評価か、等) も含めること。

※国内外を問わず、他大学に在籍していた経験がある者はその大学の成績証明書も提出すること。

⑤英語能力を証明する書類

A: Yale Summer Sessionを希望する者

TOEFL PBT 600/ iBT 100/CBT250あるいはIELTS 7以上のスコアの写し

(TOEFL・IELTSに関する注意事項)

- (1) TOEICスコア等上記以外の英語能力検定試験による応募は認めない。
- (2) 受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可とする。
- (3) 各部局での締切日までにスコアの写しを提出できない場合、3月4日 (月) 正午まで【必着】は本部国際交流課へスコアの写しを提出することを認める。スコアの写しの差替えを希望する場合も同様とする。
- (4) 上記テストを受験していないが、上記スコア相当の英語能力を有している場合：

In lieu of a test score, you may submit alternative evidence of English language proficiency, such as proof of attendance for at least four years at a secondary school where English is the primary language of instruction.

B: English Language Institute Programを希望する者

原則、TOEFL PBT/iBT/CBT、あるいはIELTSのスコアの写し。その他TOEIC、実用英語技能検定の成績証明書の写しでも可とする。(受験後にウェブ上で確認できるスコアの写しでも可)

※前述以外の英語能力試験等の成績証明書を提出する場合は、その成績証明書の写しと併せて、その英語能力試験等に関する説明文書 (様式任意。ただしA4サイズ) を提出すること。説明文書の内容には、試験概要や、上記の英語能力試験への成績換算表等を含めること。

⑥銀行等の残高証明書 (英文・原本)

※ビザの取得に必要なため、本プログラムにかかる費用 (授業料、宿泊料、食費、保険料、生活費等) を十分にまかなうことができる残高を証明すること。([目安例] 授業料・宿泊料が60万円の場合、その他生活費等経費を勘案し、残高が少なくとも80万円程度以上の銀行等残高証明書が必要。)

※残高証明書は、最終的に2通必要となる。1通は本申請の必要書類であり、イェール大学へ送付する。もう1通は、参加が決まった場合にビザの申請を行う際に必要となるため、保管しておくこと。

⑦パスポートのカラーコピー（顔写真・氏名・生年月日が記載されているページ）

※有効期限に注意すること。

10. 選考

- (1) 本学において3月に学内選考を行い、派遣候補学生をイエール大学に推薦する。（原則として面接審査は行わない。）
- (2) IARU GSP の各コースとの併願も可能である。ただし、学内選考を行い IARU GSP または本プログラムのどちらかにのみ推薦を行う。
- (3) より多くの学生に海外体験の機会を提供するため、過去に本プログラムへの参加経験がある学生については、学内選考や奨学金支給の際に優先順位が低くなる場合がある。
- (4) 書類不備があった場合等、所属部局または本部国際交流課から申請者に連絡することがあるため、2月～4月はメールや電話に注意しておくこと。
- (5) 選考結果は3月下旬頃（予定）に、申請時及び派遣時の所属部局の部局長あてに通知する。

11. 学内選考後の留意事項

- (1) 学内選考を通過した学生は、4月初旬頃（予定）に各自で必ずオンライン申請を行う必要がある。詳細は学内選考後、当該学生宛て連絡する。
- (2) 参加手続き及び渡航手続き等は、イエール大学等の指示に従い、本人の責任により行うこと。また、これらに要する費用も本人の負担となる。
- (3) やむを得ない事情により派遣を辞退しなければならない場合は、早急に所属する部局の担当部署を通じて本部国際交流課へ連絡すること。
- (4) 査証（ビザ）取得手続きは、イエール大学の指示に従い、またアメリカ大使館等で必ず最新の情報を得て本人の責任により行うこと。
- (5) 所属部局の担当部署に確認し、必要な場合は「留学」等の海外渡航に必要な手続きを行うこと。（必要な手続きは、所属部局毎に異なる。）
- (6) 指導教員等の関係者には事前に連絡するなどして、海外に一定期間派遣されることにより関係者に迷惑をかけないように努めること。
- (7) 一般的な留学のための情報や危機管理等については、「東京大学海外留学・国際交流情報」ウェブサイトを参照すること。（<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/voyage/>）特に、危機管理ガイドブックは必ず熟読すること。また、参加期間をカバーする海外旅行傷害保険等に各自必ず加入して渡航すること。
- (8) 5月～6月頃、派遣学生へのオリエンテーションを開催するため、やむを得ない事情がない限り参加すること。
- (9) そのほか、東京大学が指示する注意事項に従うこと。

12. コース参加の際の注意事項

- (1) 本プログラムの趣旨を十分理解の上、十分な学習成果を挙げ、受講コースを修了することに努めること。
- (2) 本学から選抜された代表学生として海外の大学に派遣されることを自覚し、派遣先大学・国の法令、規則、規程、マナー等を遵守すること。

13. 留学後の報告等

- (1) 派遣学生は、プログラム終了日から2週間以内(必着)に本部国際交流課が定める報告書(所定様式)、パスポートの写し(「本人氏名、写真等記載欄」と「日本の入国管理局による出入国印」のページ)を本部国際交流課へ提出すること。
- (2) 各種奨学金等を受給した場合は、上記以外にも指定された報告書類を提出すること。
- (3) Yale Summer Sessionに参加し所定の要件を満たした場合には、イエール大学から単位が付与されるが、本プログラムで修得した単位等を本学の単位として認定できるかどうかは所属部局の判断による。本プログラムで修得した単位等が必ずしも本学の単位となるとは限らない。(単位認定の手続き等については、所属する部局の担当部署にて事前に確認及び相談すること。)
- (4) 応募時の申請書に記載の住所や電話番号・メールアドレスに変更があった場合は、所属部局で所定の手続きを行うとともに本部国際交流課へも連絡すること。帰国後の成績証明書や修了証の送付・必要事項の連絡の際に必要なこと。
- (5) 参加学生には、帰国後、報告会や説明会への参加のほか、東京大学の国際化に関する業務への協力(留学プログラムの広報や学生へのアドバイス等)を依頼する場合がある。依頼があった場合、やむを得ない事情のない限りできる限り協力すること。

14. 関連ウェブサイト

YSS ウェブサイト：<http://summer.yale.edu/>

ELI ウェブサイト：<http://summer-eli.yale.edu/>

東京大学 Go Global ウェブサイト (応募に関する情報)：

<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/program/yale-summer.html>

15. 問い合わせ先

- (1) 申請の手続きに関すること：現在所属する部局の担当部署
- (2) 単位認定等、本学での学務関係の事項：留学時に所属する部局の担当部署

各部局担当部署一覧：<http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/administration/go-global/contacts/inquiry.html>

- (3) 各コースの内容等：イエール大学担当者 [ELI] <http://summer-eli.yale.edu/contact-us>
[YSS] <http://summer.yale.edu/contact-us>

- (4) その他の事項：本部国際交流課学生・研究者交流チーム (iaru.gsp@adm.u-tokyo.ac.jp)